



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外37号です。第24回住民医療フォーラムの報告と10月の問い合わせ状況の報告を掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

第24回 住民医療フォーラムの報告



令和元年11月5日（火）、「第24回 住民医療フォーラム」を開催しました。今回は京都府立医科大学の竹中洋学長に「京都府南部の医療展開ー近未来の予測ー」と題して講演して頂きました。地域住民の皆様他、行政機関や専門職の皆様も多数ご参加下さいました。

さて、竹中先生の講演ですが、京都府南部地域の現状と今後の展望などについて様々なデータをもとに教えて下さいました。講演を聴きながら、我々職員にとってもこの地域の現状や課題、さらには当院が将来果たすべき役割について改めて考える機会となり、大変有意義でした。

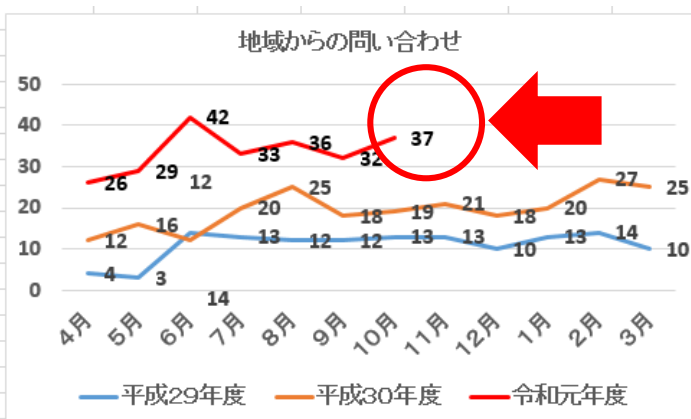


竹中先生の講演の後はパネルディスカッションです。引き続き竹中先生に登壇頂き、中井院長による司会の元、会場から寄せられた質問に丁寧にご回答頂きました。会場からは、この地域の高齢化を不安視する声や近未来の医療技術の進歩に関する質問もあり、今後の地域医療への期待の大きさが伺えました。また、ご回答の中には竹中先生のご専門である耳鼻科領域のお話もあり、大変興味深く聴かせて頂きました。

最後の中井院長による挨拶では、地域住民の皆様の声に耳を傾け、住民の皆様に必要なとされる医療を展開していきたいとの話があり、身の引き締まる思いがしました。今回の住民医療フォーラムで学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思っています。

（地域医療連携室 主任 中嶋 庸介）

10月の問い合わせの状況について



いつもお問い合わせ頂き、ありがとうございます。10月の地域の皆様からのお問い合わせは、37件でした。

引き続き、積極的に受け入れさせて頂きたいと思っていますので、地域包括ケア病棟“彩り”に関するご要望・ご意見などがありましたら、お気軽にお寄せください。（南出）

地域からの受け入れメニューについて

～ 受け入れさせて頂いている一部を紹介します ～



レスパイト入院

(介護者負担軽減目的)



嚥下機能評価目的入院



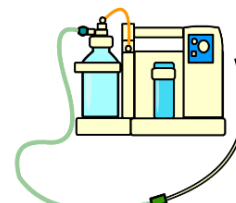
短期集中リハビリ目的入院



慢性腎臓病教育入院



呼吸リハビリ目的入院



手技指導目的入院

地域医療連携室より

～ imagine ～

12月8日は19回目のジョンレノンの命日です。1980年の12月8日、40歳。生きていたら79才。住んでいたニューヨークのアパートの前で凶弾に倒れました。小さかったので、私は当時のことは知らないのですが、小学生の頃、当時の新聞記事を読みたくて図書館に行ったっけ。

中学生の頃、白髪の英語の先生が恥ずかしそうに「今日は何の日か知っているか？」と突然言い出し、ジョンの命日にカセットテープでイマジンを聴かせてくれました。「想像してごらん、人種や国境がない世界を」と、争いがない平和な世界を願う、1971年にリリースされたジョンのメッセージソングです。聴かせてくれた英語の先生は、平和の大切さを伝えたかったのはもちろん、「こうありがたい」「こうあってほしい」と“想像することの大切さ”について、この曲を通じて生徒に伝えたかったのではないかと、今の私は思っています。前置きが長くなりました。

*

先日、後輩が自分のしたいことについて話をしてくれたのですが、その口調から本気度が伝わってきました。その時は思い出さなかったのですが、中井院長から以前、「したいことはずっと思っていたら、何かの時にできるようになるから」と教えて頂いたことを後から思い出しました。そして、院長の言葉は、ジョンレノンのイマジンを通じて英語の先生に教えて頂いた「こうありがたい」「こうあってほしい」と“想像することの大切さ”に通じるのではないかと、思いました。

イマジンの歌詞の中に、you may say I'm a dreamer but I'm not the only one という一節があります。したいことがあっても現実的に難しい場合も多いかもしれませんが、想像することを忘れないという姿勢を大切にしたいと思っています。地域の皆さんとアイデアを持ち寄り、何か新たなことができれば、と想像しているところです。アイデア、随時募集中です。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)